学校番号	１００７

令和３年度　福祉科

教科	福祉	科目	介護過程	単位数	２単位	年次	３年次
講座名	介護講座						
使用教科書	「介護過程」（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

福祉・介護の基本理念と目標の理解とともに、サービス利用者・対象者の理解を目指しましょう。
ケアマネジメント・自立生活プログラムを理解し、介護の具体的目標や援助の必要性を学びましょう。
学習方法
・講義による、介護の現場の問題に対する認識を深める
・ビデオ教材での事例の検証による考察力を高める
・プリント教材による知識整理の定着をはかる
・レポート等を設定し自ら課題見つけ掘り下げていく力を高める

２　学習の到達目標

サービス利用者が人間としての尊厳を保持しながら自立した豊かな生活が送れるよう支援するために、介護過程の意義や役割について理解させるとともに、介護過程の展開に必要な実践的な能力や態度を身につけることを目標とします。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	サービス利用者の自立を尊重した生活を支援することに主体的に取り組むとともに、サービス利用者一人ひとりの状況を的確に把握し適切かつ安全に支援できる態度を身につけている。	自立を尊重した生活を支援するために介護計画を立案することに向けて思考を深め、基礎的な知識と技術を基に、福祉に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	情報収集、アセスメント、介護計画の立案についての基礎的な技術を身につけ、福祉に関する諸活動において、その技術を適切に活用している。	介護過程の意義と目的を理解し、サービス利用者の自立に向けた基礎的な知識を身につけるとともに、他職種の連携やチームアプローチの意義を理解している。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 グループワーク レポート	学習状況の観察 プリントの記述 発表 定期考査 レポート	学習状況の観察 プリントの記述 グループワーク 定期考査	学習状況の観察 プリントの記述 レポート 発表 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	介護過程の意義と目的	・生活支援と根拠にもとづいた介護 ・介護過程の意義 ・介護過程の目的・基本視点	○	○	 ○	 ○ ○	a:サービス利用者の自立を尊重した介護に関心をもち、介護過程の意義や目的を理解したうえで、社会福祉援助の方法について探求しようとしている。 b: 介護過程の意義や目的について理解し、自らの介護観、倫理観として的確に表現する能力を身に付けている。 c:介護過程の意義や目的を理解し、実際の援助場面において適切に活用している。 d: サービス利用者の自立を尊重した援助を行うために必要な介護過程の意義や目的を理解している。	学習状況の観察 プリントの記述 グループワーク レポート 定期考査
2	介護過程の展開	・情報収集とアセスメント ・生活課題と目標の設定 ・介護計画の立案 ・介護計画の実施と評価	○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○	a: サービス利用者の自立を尊重した介護に関心をもち、介護過程の展開を理解したうえで、社会福祉援助の方法について探求しようとしている。 b: 情報収集とアセスメントなど介護過程の展開について理解し、自らの介護観、倫理観として的確に表現する能力を身に付けている。 c:介護過程の展開について理解し、実際の援助場面において適切に活用している。 d: サービス利用者の自立を尊重した援助を行うために必要な介護過程の展開について理解している。	学習状況の観察 プリントの記述 グループワーク レポート 定期考査

3	介護過程の実践的展開	・介護過程の展開の実際 ・アセスメントの実際 ・評価の実際 ・事例学習	○ ○	 ○	 ○	○ ○ ○ ○	a: サービス利用者の自立を尊重した介護に関心をもち、介護家庭の実践的展開について探求しようとしている。 b: アセスメントや評価など介護過程の展開について理解し、自らの介護観、倫理観として的確に表現する能力を身に付けている。 c:介護過程の展開について理解し、実際の援助場面において適切に活用している。 d: サービス利用者の自立を尊重した援助を行うために必要な介護過程の展開について理解している。	学習状況の観察 プリントの記述 グループワーク レポート 定期考査
4	介護過程とチームアプローチ	・チームアプローチが持つ意義 ・多職種連携 ・施設介護におけるチームアプローチ ・在宅介護におけるチームアプローチ ・事例学習	○ ○	○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○	a: サービス利用者の自立を尊重した介護に関心をもち、チームアプローチの意義について探求しようとしている。 b: チームアプローチが持つ意義について理解し、自らの介護観、倫理観として的確に表現する能力を身に付けている。 c: チームアプローチが持つ意義について理解し、実際の援助場面において適切に活用している。 d: サービス利用者の自立を尊重した援助を行うために必要なチームアプローチの意義について理解している。	学習状況の観察 プリントの記述 グループワーク レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。